



そのときがくるくる

すずきみえ作 くすはら^{じゅんこ}順子絵 ^{ぶんけんしゅつばん}文研出版

ぼくは、たくま。一年生^{いちねんせい}。学校^{がっこう}が大^{だい}すきで、とくにきゆうしよくのじかんが、いちばんすき。でも、きょうはちがう。なすの日^ひだから。ぼくは、小^{ちい}さいときからなすがきらいだ。あのがいあじとくじゅくじゅくしたかんじ。いつもなすだけのこしちゃうんだよね…。

そんなぼくに、おじいちゃんは

「いつかきつと、そのときがくる」といつてくれた。ぼくにもくるんだ。おいしく食^たべられるときが。そのときがくるとおもったら、気^きもちがすつとかるくなった。

